

小委員会の調査報告書

<p>教科名</p>	<p>国語科</p>	<p>委員長名 久保 俊博</p>
<p>調査研究の経過</p>	<p>1 審議の概要</p> <p>(1) 第1回調査委員会を7月1日(火)に、稚内市役所正庁で開催し、国語小委員会の委員長並びに副委員長を選出するとともに、調査研究の進め方等について確認した。</p> <p>(2) 7月2日(水)から7月13日(日)まで、「教科書見本本」、「教科書編集趣意書」、「採択参考資料」をもとに、調査研究を進めた。</p> <p>(3) 第2回調査委員会を7月14日(月)に、稚内市役所正庁で開催し、報告書の作成を行った。</p> <p>なお、調査研究した教科書見本本の発行者(略称)は、東書、三省堂、学図、教出、光村の5者である。</p> <p>2 調査研究の観点</p> <p>調査研究の観点は次のとおりである。</p> <p>(1) 「取扱い内容」について</p> <p>(2) 「内容の構成・配列・分量等」について</p> <p>(3) 「使用上の配慮」について</p> <p>(4) 「その他」</p>	
<p>調査研究に当たった際の配慮事項</p>	<p>次の点に配慮して調査研究を進めた。</p> <p>1 「取扱内容」について</p> <p>(1) 学習指導要領の総則及び各教科、各学年の目標、内容等に基づいて取り上げられているか。</p> <p>(2) 知識・技能の習得、活用、探究に対応できるよう、既に学習した内容の系統的な反復学習や練習問題などによる繰り返し学習に関する内容、観察・実験やレポートの作成に関する内容、他教科との関連する内容、補充的な学習や発展的な学習に関する内容、実生活・実社会に関する内容などがどのように取り扱われているか。</p> <p>2 「内容の構成・配列、分量等」について</p> <p>(1) 内容の構成・配列が、地域の実態や学年の発達の段階等に応じて、系統的、発展的に組織されているか。</p> <p>(2) 内容の分量が、領域等ごと、全体としてどのようになっているか。</p> <p>3 「使用上の配慮等」について</p> <p>(1) 児童の学習意欲を高める工夫がなされているか。</p> <p>(2) 自ら課題解決に取り組み、主体的に学習に取り組めるよう工夫がなされているか。</p> <p>(3) 目次、索引、注、諸表など、使用上の便宜は図られているか。</p> <p>4 「その他」について</p> <p>上記1～3に含まれないもので、全体を通じて特色があれば記載する。</p>	
<p>少数意見その他</p>	<p></p>	

様式 2

教科名		国 語 科				
	出版社名	教科書名	番 号	出版社名	教科書名	番 号
		東京書籍	新しい国語	2	学校図書	みんなと学ぶ 小学校国語
取 扱 内 容	<p>○話すこと・聞くことについては、相手や目的に応じて説明したり話し合ったりする学習活動等を通して、目標を達成できるようにしている。</p> <p>○書くことについては、創造的に考え表現する力を育成するために、創作の活動を重視した単元が各学年に設置されている。</p> <p>○読むことについては、話すこと・聞くことの単元と組み合わせて活用力をつけたり、生活の中の多様なテキストを取り上げたり、実生活に生きる読解力が育つように工夫されている。</p> <p>○伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項では、郷土の伝統や文化への理解と愛着を深める教材が設定されている。</p>			<p>○話すこと・聞くことについては、実生活に生きる音声言語能力を系統的に身に付けさせるため、「学級作り」ページなどにより、授業が楽しい交流の場となるような内容になっている。</p> <p>○書くことについては、取材・選材・推敲・交流など、論理的思考力や判断力、発信力を発揮する思考のプロセスを重視しながら、基本的な技能を学ぶ「演習学習材」により、児童が自覚的に学べるようになっている。</p> <p>○読むことについては、教材をしっかりと読むために必要な言語技術的知識・技能を「国語のカギ」等でまとめて提示し、演習用学習材として「読むために書く」を設置し、読みを確かなものとなるようにしている。</p> <p>○伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項については、児童が興味を持って取り組める学習材を発達段階に合わせて構成している。</p>		
	内 容 の 構 成 ・ 配 列 ・ 分 量 等	<p>○内容の構成については、順序よく話す活動（第1学年）から順序よく分かるように説明する活動（第2学年）へ、というように、低学年、中学年、高学年の各2学年を通じて系統的、発展的に学習できるように工夫されている。</p> <p>○内容の配列については、発達段階や児童に身に付けさせたい力、言語活動などの系統性を考慮し、バランスよく単元を配列している。</p> <p>○内容の分量については、第1学年～312p（20%増）、第2学年～350p（22%増）、第3学年～366p（20%増）、第4学年～358p（18%増）、第5学年～298p（3%増）、第6学年～290p（1%増）となっている。</p>			<p>○内容の構成・配列については、各学年において、「学び方」や「学習手順」が分かる学習材が設定されており、言語活動の基礎・基本を学べるようになっている。また、「プレ教材」を設け、先行知識を元に主体的な読み手を育て、読解の技能と思考力を育てる内容になっている。</p> <p>○内容の分量については、第1学年～262p（11%増）、第2学年～292p（12%増）、第3学年～298p（5%増）、第4学年～310p（3%増）、第5学年～336p（11%増）、第6学年～338p（8%増）となっている。</p>	
使 用 上 の 配 慮	<p>○友達とクイズを出し合う活動や、案内状を作成する活動など、言葉を介して協同的に学びながら、児童の学習意欲を高める工夫がなされている。</p> <p>○単元でつけた力が明確になるように、3領域の各単元末に「言葉の力」を明示し、ねらいに即した言語活動を設定している。</p> <p>○「言葉の力」を他教科や実生活に活用できるように「ひろがる」欄をつくるなど、児童が国語を学ぶ意義を見出せるような工夫がなされている。</p>			<p>○各学年の発達段階に応じ、相手意識や目的意識を明確にするとともに、児童の学習意欲を高める工夫がなされている。</p> <p>○学習のプロセスを示したり、用語を調べることができるようにするなど児童が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。</p> <p>○巻末に「保護者の方へ」を掲載し、学習内容や身につくことを保護者が理解することにより、家庭学習につないでいけるようになっている。</p>		
そ の 他	<p>○学習のロードマップのページを設け、児童が年間の学習を見通すことができるようにしている。</p>			<p>○教科書体ではなく、書き文字に近い字形・字体になるようにデザインした書体を用いている。</p>		

様式 2

教科名		国 語 科				
	出版社名	教科書名	番 号	出版社名	教科書名	番 号
		三省堂	小学生の国語 学びを広げる	1 5	教育出版	広がる言葉 小学国語
取 扱 内 容	<p>○話すこと・聞くことについては、各学年5つの系列を設けることで、音声言語によって伝える力、話し合いを通じてものごとを決めたり問題を解決したりする力を、計画的・系統的に着実に身につけることができるようになっていく。</p> <p>○書くことについては、実生活で生きる「書くこと」の力や、相互に思考を深めたりまとめたりしながら課題を解決していく力を着実に身につけるために、7つの系統が設けられている。</p> <p>○読むことについては、新旧バランス良く配列された物語教材と、段落構成や書き手の考えが明確に示された説明文により、ことばをはぐくむ学習ができるようになっていく。</p> <p>○伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項については、児童の日常生活、言語生活と日本の伝統的な言語文化とを結びつけられるような工夫がなされている。</p>			<p>○話すこと・聞くことについては、「学習の進め方」を提示し、児童が「何のために」「何を」学習するのか、見通しを持って学べるようになっていく。また、グループの話し合いやパネルディスカッションなど、関わり合いのある活動を取り入れている。</p> <p>○書くことについても、話すこと・聞くこと同様に単元の目標とめあてに向けて、学びのステップにそって、発見を報告する活動など多様な文章を書く活動ができるようになっていく。</p> <p>○読むことについては、単元の目標と教材のめあてを明確にすることで、「目的に応じて読み進める」ことができるようになっていく。また、今後の学習や他教科でも活用できるように「読みの技能」を現教科書よりも丁寧に提示している。</p> <p>○伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項については、昔話・神話から近代文学まで、必ずふれておきたいスタンダードな作品や言語文化にふれながら「日本語の美しさへの気づき」や「読書力」を高めることができるようになっていく。</p>		
内 容 の 構 成 ・ 配 列 ・ 分 量 等	<p>○内容の構成については、振り返り確かめる活動を取り入れながら、基礎的・基本的な知識や技能を着実に習得し、その知識や技能を活用する力を身につけられるようになっていく。</p> <p>○内容の配列については、発達段階や教材の連続性を考慮した基本的な年間教材配列を設定し、2 学年を一つのまとまりとした系統的・発展的な学習が進められるようになっていく。</p> <p>○内容の分量については、第1学年～260P(1%減)、第2学年～254P(18%減)、第3学年～278P(19%減)、第4学年～278P(19%減)、第5学年～294P(23%減)、第6学年～310P(21%減)となっている。</p>			<p>○内容の程度については、「習得」「ふりかえり」「定着」「活用」を繰り返し設定して学習ができるようになっていく。また、日常生活と関連する内容を取り上げ、目的意識をもちながら学習できるようになっている。</p> <p>○内容の配列については、2 学年で同時期に同じ系統の学習を設定していることで、螺旋的・反復的に学習できるようになっている。</p> <p>○内容の分量については、第1学年284p(3%増)、第2学年296p(7%増)、第3学年300p(1%増)、第4学年310p(1%減)、第5学年308p(3%増)、第6学年328p(1%減)となっている。</p>		
使 用 上 の 配 慮	<p>○すべての児童が授業で使用する「小学生の国語」と、他教科の学習においても活用できる「学びを広げる」の2分冊構成になっている。</p> <p>○「てびき」「言葉のポケット」に学び方や学習のポイントを示すことにより、児童が主体的に学習に取り組むことができるよう工夫されている。</p> <p>○読書ガイド「わたしの本だな」を掲載することにより、年間を通じて読書指導ができるようになっている。</p>			<p>○単元の目標を「～しよう」の言葉で提示し、児童が主体的に学習できるよう工夫されている。</p> <p>○「ここが大事」で学習のポイントを紹介したり、「学習の進め方」で学びのステップを提示し、児童が主体的に学習できるよう工夫されている。</p> <p>○「紙人形」や「点字ページ」など、児童が興味を持って学習できるよう工夫されている。</p> <p>○巻末に「この本で学ぶこと」を掲載し、家庭学習や個に応じた学習ができる様に工夫されている。</p>		
そ の 他	<p>○点画等を書き文字に近づけ、学びやすく読みやすいオリジナルの活字を使用している。</p>			<p>○色覚の個人差を問わず、ユニバーサルデザインを取り入れており、NPO法人CUDOの認証を受けている。</p>		

様式 2

教科名		国 語 科				
	出版社名	教科書名	番 号	出版社名	教科書名	番 号
		光村図書	国 語	3 8		
取 扱 内 容	<ul style="list-style-type: none"> ○ 話すこと聞くことについては、「話すこと」「聞くこと」「話し合うこと」に分け、その学年での指導内容を取り上げて系列化している。 ○ 書くことについては、直前に学習した説明的な文章と有機的につながるように、内容・活動を考慮した教材を位置づけている。 ○ 読むことについては、普遍的な課題と現代的な課題を偏りのないように取り上げ、興味関心や他教科の学習内容に配慮している。 					
内 容	<ul style="list-style-type: none"> ○ 伝統的な言語文化・国語の特質に関する事項については、古典の一節や俳句・短歌を音読したり暗唱したり、作品の世界を創造したりして親しむ教材を取り入れている。 					
内 容 の 構 成 ・ 配 列 ・ 分 量 等	<ul style="list-style-type: none"> ○ 内容の構成については、「単元」「小単元」「コラム」「特設単元」で構成し、知識・技能の習得・活用・探求が繰り返されながら着実に身につくようになっている。 ○ 内容の配列については、各単元・教材のねらいを明確にし、基礎的・基本的な内容が着実に身につけられるようにし、言語活動例が漏れなく扱えるように教材が配置されている。 ○ 内容の分量については、第1学年272p(6%増)、第2学年276p(1%増)、第3学年292p(1%増)、第4学年298p(3%増)、第5学年284p(4%増)、第6学年284p(4%増)となっている。 					
使 用 上 の 配 慮	<ul style="list-style-type: none"> ○ 相手意識や目的意識を明確にするとともに、本を読むことと日常生活との関連を示した「この本、読もう」を掲載し、児童の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○ 「学習」に学習の進め方を示したり、「学習に用いる言葉」で用語を調べることができるように工夫されている。 ○ 巻末の付録「学習を広げよう」に、補充的・発展的な学習に活用できる資料を掲示している。 					
そ の 他	<ul style="list-style-type: none"> ○ 5, 6年は、一冊の合本として、年間の見通しを持てるように配慮されている。 					